素を選択するとともに，情報セキュリティを確保する方法について考えること。

(ｲ) 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。

(ｳ) データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法を適切に選択し，実行し，評価し改善すること。

3　内容の取扱い

(1) 内容の(1)から(4)までについては，中学校までの情報と情報技術及び情報社会に関する学習，問題の発見・解決に関する学習並びにデータの活用に関する学習などとの関連に配慮するものとする。

(2) 内容の(1)については，この科目の導入として位置付け，(2)から(4)までとの関連に配慮するものとする。アの(ｲ)及び(ｳ)並びにイの(ｲ)及び(ｳ)については，生徒が情報社会の問題を主体的に発見し明確化し，解決策を考える活動を取り入れるものとする。

(3) 内容の(2)のアの(ｲ)については，身近で具体的な情報デザインの例を基に，コンピュータなどを簡単に操作できるようにする工夫，年齢や障害の有無，言語などに関係なく全ての人にとって利用しやすくする工夫などを取り上げるものとする。

(4) 内容の(3)のアの(ｲ)及びイの(ｲ)については，関数の定義・使用によりプログラムの構造を整理するとともに，性能を改善する工夫の必要性についても触れるものとする。アの(ｳ)及びイの(ｳ)については，コンピュータを使う場合と使わない場合の双方を体験させるとともに，モデルの違いによって結果に違いが出ることについても触れるものとする。

(5) 内容の(4)のアの(ｱ)及びイの(ｱ)については，小規模なネットワークを設計する活動を取り入れるものとする。アの(ｲ)及びイの(ｲ)については，自らの情報活用の評価・改善について発表し討議するなどの活動を取り入れるものとする。アの(ｳ)及びイの(ｳ)については，比較，関連，変化，分類などの目的に応じた分析方法があることも扱うものとする。

第2　情報Ⅱ

1　目　標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。

(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。

(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

2　内　容

(1) 情報社会の進展と情報技術

情報技術の発展による人や社会への影響に着目し，情報社会の進展と情報技術との関係を歴史的に捉え，将来の情報技術を展望する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 情報技術の発展の歴史を踏まえ，情報社会の進展について理解すること。

(ｲ) 情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解すること。

(ｳ) 情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ，将来の情報技術と情報社会の在り方について考察すること。

(ｲ) コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察すること。

(ｳ) 人の知的活動が変化する社会における情報システムの創造やデータ活用の意義について考察すること。

(2) コミュニケーションとコンテンツ

多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性に着目し，目的や状況に応じて情報デザインに配慮し，文字，音声，静止画，動画などを組み合わせたコンテンツを協働して制作し，様々な手段で発信する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識及び技能を身に付けること。

(ｱ) 多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解すること。

(ｲ) 文字，音声，静止画，動画などを組み合わせたコンテンツを制作す